

(後期基本計画評価資料)

後期基本計画の評価

基本政策 1 四季を通じて、また訪れたいくなるまちづくり

冬季以外の観光客入込数は、目標値には届いていないものの、後期計画策定時(平成 27 年度)と比べて増加しています。一方、冬季の観光客入込数は、小雪及び新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、目標値の 7 割程度にとどまっています。

外国人観光客は、目標値の約 1.3 倍、後期計画策定時の 3 倍以上の実績となっていますが、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行が収束するまでの間は、大幅な減少が見込まれることから、国内での需要喚起や新しい観光の在り方を検討、推進していかねばなりません。

リゾートマンションオーナーの地域行事や祭りへの参加については、計画策定時から減少しており、「関係人口」の拡大を図るためにも、積極的な参加を促進していく必要があります。

■成果指標

指 標	後期計画策定時	目標値	実績値	達成度
冬季以外の観光客入込数	1,482 千人	1,650 千人	1,566 千人	94.9%
冬季の観光客入込数	2,840 千人	3,000 千人	2,066 千人	68.9%
年間観光客数	4,322 千人	4,650 千人	3,631 千人	78.1%
観光客におもてなしの心で接している町民の割合	45.0%	60%	45.8%	76.3%
外国人観光客数	80 千人	200 千人	252 千人	126%
地域の行事や祭りに参加しているリゾートマンションオーナーの割合	22.4%	45%	16.5%	36.7%

基本政策2 働きがいのある活力あふれるまちづくり

若者や女性、高齢者等の就労について、町民意識調査では概ね横ばいですが、就業率は増加しています。

一方、町内における就業者数は、現状維持を目指したものの、生産年齢人口の減少等を背景に、約 1,000 人の減少となっています。主幹産業である観光業は厳しい事業環境にありますが、地域産業の活力を維持・拡大していくためにも、引き続き、産業振興による雇用創出を図りつつ、労働力の確保に取り組んでいく必要があります。

■成果指標

指 標	後期計画策定時	目標値	実績値	達成度
若者が地元で希望する職に就くことに満足している町民の割合	2.6%	5%	2.9%	58.0%
若者(20-34 歳)の就業率	80.0%	82%	84.0%	102.4%
女性が働きやすい職場環境の整備について満足している町民の割合	12.5%	15%	14.1%	94.0%
女性の就業率	46.7%	55%	50.6%	92.0%
高齢者や障がい者にも就業の機会が確保されていると感じている町民の割合	6.7%	10%	7.6%	76.0%
高齢者(65 歳以上)の就業率	23.1%	35%	27.6%	78.9%
雇用創出数	—	75 人	17人	22.7%
町内における全体就業者数	6,967 人	現状維持	5,995 人	86.0%

基本政策3 安心して自分らしく暮らせるまちづくり

認知症サポーター養成講座の充実を図り、目標値を大きく上回る約 1,400 人が受講しています。医療や在宅介護に対する満足度は、後期計画策定時より下がっており、その要因について把握しつつ、改善に向けた取組を図っていく必要があります。

出生について、合計特殊出生率は上昇しているものの、若い女性の数の減少等により出生数は減少しています。出生数を増やしていくためには、子育て支援の充実や若者に魅力的なまちづくりを通じた移住・定住を促進していくことが必要です。子育て支援体制に対する満足度はやや増加しているものの、認定こども園の充実・利用のしやすさに対しては大幅に満足度が低下しています。待機児童の発生等も背景にあると考えられることから、保育ニーズに応じた受け入れ態勢の充実を図っていく必要があります。

■成果指標

指 標	後期計画策定時	目標値	実績値	達成度
生きがいを持つことができている高齢者の割合	21.8%	60%	18.8%	31.3%
地域のボランティア活動に参加したことがある高齢者の割合	41.6%	50%	40.7%	81.4%
認知症サポーターの数	790 人	1,000 人	1,413 人	141.3%
健康診査受診者数※	1,675 人	—	1,464 人	—
医療施設・サービスについて満足している町民の割合	41.7%	50%	35.6%	71.2%
介護を必要としている高齢者が在宅でサービスを受けることができる体制について満足している町民の割合	30.3%	50%	19.9%	39.8%
悩みを解決できる人の割合	青壮年 81.9%	青壮年 91%	青壮年 82.1%	90.2%
	高齢 79.1%	高齢 87%	高齢 80.5%	92.5%
合計特殊出生率	1.26	1.42	1.46	102.8%
年間出生数	43 人	42 人	37 人	88.1%
認定こども園が充実し利用しやすいと感じている子育て世代の割合	40.1%	80%	21.5%	26.9%
子育て支援体制が整っていることに満足している子育て世代の割合	27.7%	60%	32.8%	54.7%
湯沢町は安心して生活できる町だと感じている人の割合	青壮年 73.0%	青壮年 80%	青壮年 65.9%	82.4%
	高齢 78.0%	高齢 85%	高齢 80.5%	94.7%
住み慣れた家で生活を続けていけると感じる人の割合	高齢 86.3%	高齢 100%	高齢 84.4%	84.4%

※健康診査受診者数は、町実施以外の健康診査受診者数の、最新の数値が集計できないため、町実施の健康診査受診者数とした。

基本政策4 自然と共に生き、快適に暮らせるまちづくり

環境保全について、ごみの分別をきちんと行っている町民の割合は増加しているものの、省エネやリサイクルに取り組んでいる町民の割合は減少し、ごみ排出量も後期計画策定時と比べて増加しています。ごみ発生抑制に向けて、一人ひとりのリサイクルへの意識醸成と併せて、事業所等の協力を促していかなければなりません。

安全・安心について、災害時の避難所・避難場所の認知度は横ばいとなっています。自主防災組織の組織率が後期計画策定時から大きく伸びており、今後は、活動支援に力を入れていくことが必要です。除雪体制については町民の満足度が上がっています。

道路・交通機関について、今回の調査から道路整備と交通機関を分けて設問したところ、道路環境には概ね満足しているものの、交通機関に対する満足度が低い実態が浮き彫りとなっています。町民及び観光客にとって利便性の高い移動手段の確保が課題となっています。

■成果指標

指 標	後期計画策定時	目標値	実績値	達成度
環境保全への配慮について満足している町民の割合	48.1%	50%	50.2%	100.4%
省エネルギーやリサイクルに取り組んでいる町民の割合	62.4%	70%	51.9%	74.1%
ごみの分別をきちんと行っている町民の割合	91.8%	95%	95.1%	100.1%
ごみ排出量	4,923t	4,591t	4,993t	91.9%
日常生活の中でインターネットを利用する町民の割合	53.1%	70%	62.4%	89.1%
災害時の避難所・避難場所がどこか知っている町民の割合	72.9%	100%	73.7%	73.7%
自主防災組織の組織率	58.6%	90%	87.5%	97.2%
治安の維持に満足している町民の割合	70.3%	80%	68.3%	85.4%
除雪体制の整備について満足している町民の割合	58.9%	70%	72.6%	103.7%
交通事故発生件数(人口1万人当たり)	47.2人	30人	32.6人	92.0%
道路・交通機関の整備に満足している町民の割合	55.6%	65%	道路 65.6% 交通 31.2%	—
上・下水道など生活環境に満足している町民の割合	86.4%	90%	81.7%	90.8%

基本政策5 誰もが学べ、個性を誇れるまちづくり

学校の教育環境や家庭・学校・地域の連携の満足度について、湯沢学園の設置運営により大幅な満足度の向上を目指しましたが、後期計画策定よりやや減少しています。湯沢学園を核とし、各地域での取組とも連携しながら、よりよい教育環境づくりに取り組むとともに、活動内容についての周知と理解を促進していくことも必要です。

生涯学習については、町に誇りや愛着を感じている町民の割合が増加した一方で、地域の行事や祭りに参加したことがある町民の割合は減少し、生涯学習機会に対する満足度も低下しています。幅広い世代が参加しやすい行事や祭りの開催や生涯学習等を通じた地域での交流機会の創出を図っていく必要があります。

■成果指標

指 標	後期計画策定時	目標値	実績値	達成度
学校の教育環境や施設の整備について満足している子育て世代の割合	34.0%	70%	29.0%	41.4%
家庭・学校・地域の連携について満足している子育て世代の割合	23.3%	70%	20.5%	29.3%
町の文化や歴史が子どもたちに十分伝わっていることについて満足している子育て世代の割合	12.7%	30%	11.5%	38.3%
地域の行事や祭りに参加したことがある町民の割合	50.2%	60%	40.7%	81.4%
湯沢町に誇りや愛着を感じている町民の割合	41.8%	50%	46.5%	93.0%
生涯学習の参加機会に満足している町民の割合	20.3%	30%	12.1%	40.3%

基本政策6 持続可能な自立したまちづくり

本町が住みよい町だと思っている町民の割合は増加していますが、地域のボランティア活動に参加したことのある町民や、町政・財政運営に関心がある町民の割合が減少しています。

今後も、魅力的で住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを続けていくためには、多様な主体の連携・協働が不可欠であり、町政への関心の喚起と地域活動等への参加促進に力を入れていく必要があります。

■成果指標

指 標	後期計画策定時	目標値	実績値	達成度
地域のボランティア活動に参加したことのある町民の割合	38.3%	45%	35.8%	79.6%
町政・財政運営に関心がある町民の割合	45.2%	70%	39.9%	57.0%
20-30 歳代世帯の社会増減数※	-33 人	—	13 人	—
湯沢町での暮らしについて、住みよい町だと思っている町民の割合	57.2%	70%	67.0%	95.7%

※20-30歳代世帯（親子）の社会増減数について、最新の数値が集計できないため、20-30歳代世帯の社会増減数とした。